



■Deaf LGBTQ Center とは？

Deaf LGBTQ Center は、* ろう LGBTQ への啓発支援団体です。「ろう LGBTQ」はろう当事者、かつ LGBTQ 当事者であるダブルマイノリティです。2014年5月から活動をスタートしました。

近年国内で行われた複数の民間等の調査結果によると、性的マイノリティの人は全人口の約3～10%いるといわれていますが、まだまだ認知されていません。もちろん、ろう者の中にも性的少数者はいます。侮蔑的な手話表現をされて嫌な気持ちになった、性別違和のカウンセリングや裁判所での手続きをするのに LGBTQ や SOGI などの専門知識を持った手話通訳者が少なくて頼みにくい…等の問題が日常的に起こっています。

LGBTQ に対する偏見のため、ストレスや不安を感じながら暮らしているろう者がたくさんいます。そこで私たちは講演会の実施や手話通訳者研修、「ろう × セクシュアルマイノリティ全国大会」などを行うことで誰もが暮らしやすい社会を目指しています。

* 「ろう」とは、聴覚障がい者の一区分です。聴覚障がい者には中途失聴者、難聴者、ろう者など様々な立場の人がいます。ろう者はその中でも音声言語を習得する前に失聴した人で、そのため手話を第一言語としている人がほとんどです。



「LGBTQ」の手話表現
「L+いろいろ」と表す

■手話表現にも「性の多様性」が求められています

多くのろうトランスジェンダーが性別違和カウンセリングを受けるため、手話通訳者派遣をお願いしようとしたら、専門的な内容だからと断られたり、医者と筆談していても内容が理解できなかつたりすることがあるなど、LGBTQ において、既存の手話表現の幅には限界があります。

また、日本手話には、男性（親指を立てる）、女性（小指を立てる）など性別二元論や異性愛に基づいた手話表現、例えば「結婚」だと男性と女性がかっつくというような表現がまだ存在しています。

そのような偏見や誤解を減らすため、「ろう × LGBTQ サポートブック」を作成しました。サポートブックでは、LGBTQ 以外の手話表現「パンセクシュアル」、「X ジェンダー」などさまざまな性自認・性的指向を取り巻く状況の表現を掲載しています。そのような手話表現を掲載することで、ろう LGBTQ や手話通訳者 / サポートする側が安心して参加できる場所を増やすために活動を続けています。



ろう × LGBTQ サポートブック

<https://deaf-lgbt-center.jimdofree.com/>